

■第2期みたけ創生!!総合戦略 パブリックコメント実施結果

資料1

第10回みたけ創生!!有識者会議（令和2年1月8日開催）において報告した内容を庁内各課へ確認依頼を行い修正を加えた内容で、パブリックコメントを実施しました。

- 実施期間：令和2年2月13日（木）から令和2年3月3日（火）（20日間）
- 意見数：22件（提出者：2名）
- 意見の内容及び回答：次のとおり

該当箇所	意見記入欄	回答
1 ページ	総合戦略の位置づけに「みたけ創生!!総合戦略」を検証、改訂して今回の第2期総合戦略を策定したとありますが、元の総合戦略の成果をどのように評価しているかの説明がありませんので、本戦略にどう活かされているか示してください。	第1期みたけ創生!!総合戦略の検証にあつては、みたけ創生有識者会議において行政としての自己評価とともに外部有識者の方々に検証いただきました。 その検証経過にあつては、有識者会議議事録がこれに代わるものとしており、過去の議事録は全て町ホームページにて公表しています。その結果をもとに第2期みたけ創生!!総合戦略(案)をお示しています。
2 ページ	議会と総合戦略の内容、その推進等について意見交換等を実施とありますが、どのような議論になったか知りたいので、過去の議事録を提示してください。 (有識者会議録の存在は把握できました)	議会との意見交換にあつては、実施事業等をベースに説明および意見交換を毎年実施しております。全員協議会での実施のほか、任意でお集りいただいた際に説明および意見交換を実施しています。検証時の一例を事務局で作成した議事録ではありますが、町ホームページ(有識者会議録と同じページ)にてお示いたします。
8 ページ・1行目	関係人口の創出とありますが、御嵩町の関係人口の現状はどうなっていますか？ また、関係人口の目標人数等具体的な設定はされないのでしょうか？	関係人口は、多くの地方自治体が取り組み始め、近年示された新たな指標です。過去御嵩町では形式的な定義を設けておらず、本戦略において定義づけを新たに行うものであり、その具体的な数値において把握することから始めていくこととしております。また、外部人材を町へ招聘する機会を活用し、その方々と町民の皆様とのご縁を結ばせていただくことで関係人口の創出にも繋げてまいります。 なお、目標人数は各年度の実施事業の内容に関わることも鑑み、必要に応じて本戦略の一部改訂を検討いたします。
14 ページ	薪ストーブ推進事業について、木材の地産地消とありますが、この地産については町有林のみを指すのか、個人の土地の木材も含むのか教えてください。	現在のところは町有林が主ですが、目指すべき将来像は町全体の木材の地産地消を目指すこととしています。
27 ページ	戦国武将の語り部育成事業とありますが、具体的にどういった方に語り部をお願いするのでしょうか？また、具体的な人数目標はありますか？ 個人的には御嵩町は可児才蔵だけではなく、幅広い時代に素晴らしい歴史があると考えています。ぜひ可児才蔵で成果を出していただき、他の歴史資源に広げて行っていただきたいです。	御嵩町にゆかりのある武将について、御嵩町民の誰もが地域外の方へ伝えることが出来ることを目指すものです。可児才蔵や才蔵に関わりのある武将、史実などについて知見を深める講座、研修会を実施し、観光ボランティアの底上げと、後継者育成、発掘を目指してまいります。 御嵩町民の誰もが語る事ができることを目標としていることから、具体的な数値はあえて設定していません。 御嵩町は可児才蔵以外にも歴史的資源は豊富にあるものの、事実活用しきれていないことも事実です。当該事業を足掛かりとさせていただきます、観光や教育の礎となるよう尽力してまいります。
28 ページ	目指す将来の姿として、御嵩町の公式SNSにおいて注目される取り組みが増えるとの記述がありますが、具体的にどのようなことを取られるのでしょうか？後述の「みたフルエンサー」との関連もありましたら教えてください。	これまで取り組んできたクラウドファンディングセミナー、IT人材育成事業等が代表的な取り組みです。広報紙や町ホームページからの情報発信だけでなく、公式SNSや公式アプリケーションを活用することで地域外からの呼び込む力を強化します。これらの実施には御嵩町職員の情報発信だけでは限りがあるため、御嵩町を後押しして下さるインフルエンサー(みたフルエンサー)の方々と協働し、情報拡散のご協力をいただきながら、住民の皆様と一体となった情報発信を目指してまいります。 また、新たな事柄だけでなく、地域団体の方々の取組を取り上げるなど、地域内だけで認知されていた活動を公式SNS等を活用することで再度注目を集め、地域住民の皆様のご活躍に繋げてまいります。

該当箇所	意見記入欄	回答
「移住促進、地域住民等による定住関係人口の創出」について	・他所からの住民の移住を促進させるため、医療面でいろんな診療科の医院を集めて総合病院ならぬ「病院村」はできないか。	医療の充実は、安心して住みよいまちづくりには大切なことと考えます。当町や可児市など隣接する市町村にも診療科を複数持つ医療機関がありますので、広域的な地域間連携のもと、今後も充実を図っていきます。
	・若者の農業離れの用地を買収し、住宅地を増やし町外からの住民を増やすことはできないか。	また、住宅用地として造成された団地内において、空き地や空き家が点在しており、新たに住宅地を造成する以前に既存住宅地の活用を優先し、空き家バンク制度のより一層の活用と周知に努め、農業施策との整合を図りながら、計画的な土地利用を検討していきます。
	・電車がなくなると絶対御嵩町は衰退するので、名鉄広見線を絶対なくさないでほしい。明智駅の利用に工夫ができないか。観光客を明智駅下車して花フェスタに向かうようにするとか、また、「名鉄ハイキング」コースとして、明智駅—花フェスタ—明智城址、明智駅—金山城を名鉄に提案できないか。広見線の駅の配置検討もどうであろう。可児市役所・ドン・キホーテそばに新駅を作るとか。	公共交通機関やそれらに附随するイベント等にあっては、官民連携は不可欠であり、必須であると認識しております。より良い提案をし続けられるよう関係者間で情報を共有し、地域の活性化に努めてまいります。
	・上恵土地区は住民・店舗も増えており、そのエネルギーを利用して東の方に発展させられないか。	開発をはじめとした施策は国、県、近隣自治体との調和や連携が必要となりますが、御嵩町が一体となった施策を随時検討、展開して参ります。
「IOT・AI等を利用した新産業創出」について	・若者に魅力ある「まち」をアピールするうえで、東濃高校にITエンジニアを育てるような学科はできないだろうか。	学科の新設は御嵩町として決定できるものではありませんが、これに代わるものとして高校生以上の学生を対象にプログラミングを学ぶことが出来る機会（年間を通じた学習）を町独自で提供しております。
	・現在はインターネット技術で、どこでも仕事ができるシステムができています。そのような企業を誘致し、子育て支援を充実しワークバランスの良い「まち」を目指す。	また、近年、IT関連の職種は、特に場所を選ばない職種として注目を集めております。御嵩町空き家バンクにおいて、空き家、空き店舗の情報を随時掲載しながら、地域に密着した企業や個人事業主の方に来ていただけるようPRし、町内で就労する人材確保と育成に努めてまいります。
	・21号バイパスの一角に成長産業の企業・工場を誘致する。	常時、岐阜県の企業誘致担当部署と連絡等情報共有をしながら新規の企業誘致に努めております。今後も御嵩町の発展のため、継続した企業誘致に取り組みます。
	・この前開催された議員住民懇談会の席上、21号バイパス沿いの開発について、「可児・御嵩インターから御嵩側は可児市に比べて農地転用が認められないから、店舗等ができない。」という話が出ていました。このような状況ならば、バイパス沿いの開発はいつまで経っても進まないことになってしまいますが、本当でしょうか。本当に農地転用が難しいならば、反対に農地利用について真剣に町が率先して政策検討すべきではないでしょうか。	21号バイパス沿いの農地の開発につきましては、一部転用が困難な箇所はございますが、21号バイパス沿いであるため認められないということではありません。
「農村産品等の資源を生かしたブランド開発、販路拡大」について	・耕作放棄地が増えている。誰も簡単に農地を借りられるシステムがほしい。	現在、町民菜園が町内4カ所あり、利用者の方を随時募集しております。小規模の内容で始められることで農業を始められる方のコストリスクを回避することができますので、既存制度の再周知に努めてまいります。
	・御嵩町内は農業で野菜等を多く作っている方がいるので、町内で野菜を販売してほしい。スーパーマーケットではなく、農家による共同直売所みたいなのができないだろうか。	また、町内の野菜等は、道の駅「可児ッテ」にて少しずつですが販売しており、地域で栽培された農産物など地元ならではの資源を生かしたブランド開発は重要であると考えています。今後も地元素材にこだわった特産品の開発や販路拡大への取り組みを推進してまいります。
	・最近のテレビ「ポツンと一軒家」の番組の中で「匂い米」(古代米)による餅を作っていたのが紹介されていたが、このようなめずらしい品種を捜し出して、当町の特産品とする努力が必要である。	

該当箇所	意見記入欄	回答
「着地型、体験型の観光交流の増進」について	・全国的に見てそれ程観光の目玉としてPRしても魅力が少ない対象をPRし続けるのは費用対効果の観点からみて、本当に観光客が呼べる程のものかしっかり議論してほしい。	多くの来訪者を御嵩町へ呼び込むためには滞在型観光の推進が重要であると考えます。歴史や文化、豊かな自然など町特有の資源を磨き上げ、観光誘客につながる取り組みを推進するとともに地域の賑わい創出を図ってまいります。ご提案内容は、各個別事業担当や関係者と共有いたします。
	・広見線と21号バイパスを絡ませる「まちづくり」が必要である。21号バイパスには東海環状自動車道の可児・御嵩インターがあり、花フェスタの観光客が訪れる。近隣の多治見には、土岐アウトレットがあり、2、3年後にはイオンモールもできる。三河地方からこれら施設に多くの観光客が訪れるため、これら観光客をターゲットとして21号バイパス沿いに「グルメロード21」と称した大きな飲食店街ができないだろうか。	
	・新丸山ダム工事が続いているが、御嵩町側からの観光スポットはできないだろうか。	
	・広見線沿いに可児市Kルートの延長として遊歩道を整備し、可児駅から遊歩道を歩いて御嵩駅まで来た後、帰りは広見線に戻るルートはどうか。	
・御嵩宿に富士の越中おわら「風の盆」の盆踊りを誘致できないだろうか。八尾の宿場の雰囲気と御嵩の雰囲気が良く似ている。胡弓のうら寂しい音色は御嵩宿にぴったりだと思う。また、踊り手は若い男女であり、踊りの所作に踊る本人も見る側にも人気が出ると思う。若い高校生に興味を持ってもらえれば広がると思う。		